

こんにちは、独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA：エルカ）です。

研究課題の進捗管理・助言・指導を行っているプログラムオフィサー（PO）が、
推進費申請のコツや工夫、注意すべきポイント等を連載でお伝えしています。
令和8年度新規課題の応募に向けて、ぜひご活用ください！

■「読む人の身になって」が合否を分ける！伝わる申請書の書き方

申請書にどんなに素晴らしい研究提案を書いても、
それが評価委員に伝わらなければ意味がありません。

長々とした一文、曖昧な表現、そして評価委員に伝わらない専門用語は、
読み飛ばされたり、低い評価につながったりする可能性があります。

あなたの研究の魅力を最大限に伝えるためには、
読み手である評価委員のことを考えた工夫が必要です。

◎ 簡潔に、そして明確に

その文章、長くないですか？

冗長な文章は避け、伝えたいことを簡潔に、明確に記述しましょう。

◎ 重要な箇所を強調する

重要な箇所、伝わる工夫をしていますか？

重要なポイントや研究目標、具体的な数値目標などは、
太字にするなどして視覚的にアピールしましょう。

あなたの情熱や意図がしっかり伝わる申請書は、
評価委員の心を動かし、採択率を確実に高めます。

提出する前に、もう一度、読み手の視点で文章をチェックしてみてください。
研究の狙いが「伝わる」書き方を意識して、申請書作成に臨んでください。

今回は「伝わる申請書の書き方」についてのお話でした。
次回は「第三者チェックの重要性」を配信の予定です。
楽しみにお待ちください。

※本連載では各 PO からのメッセージを連載でお届けしております。
文体や表現方法に違いがある場合がございます。

多くの皆さまの、環境政策へ貢献する研究提案を心よりお待ちしております。

公募期間：9 月 8 日（月）～10 月 10 日（金）14 時

<https://krs.bz/erca/c?c=60&m=286&v=128b7be3>

【公募全般に関するお問合せ先】

suishinhi-koubo@erca.go.jp

件名の先頭に【公募問合せ】と記入していただけますと幸いです。

■独立行政法人 環境再生保全機構（ERCA）

環境研究総合推進部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

ミューザ川崎セントラルタワー9 階

■メールマガジン配信停止について

配信停止を希望される方は、次の配信解除フォームよりお申込みください。

<https://krs.bz/erca/m?f=187>

※このメールは送信専用のメールアドレスから配信されています。

ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

※このメールに関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<https://www.erca.go.jp/erca/mail/index.php?conf=suishinhi>